

ブラジル
アマパ・イニシアティブ
現地からのお便り（2020年7月～2021年6月）

2021年8月
コンサベーション・インターナショナル

ブラジルにおける「“空気をはぐくむ森”プロジェクト」は、アマパ国有林とアマパ州有林という2つの保護地域の保全に貢献しています。活動を通じ、自然資本を守ることによって、人々の幸福にとって欠かすことができない生態系サービスを提供しつつ、2つの保護地域の内部及びその周辺に住むコミュニティの生計を改善することを目指します。

プロジェクトでは、2014年から3年間に集中して、地元組織を強化し、持続可能な林業と非木材林産物の生産を支援し、生態系に配慮した自給用作物栽培方法の導入を進めました。

それを土台とした新しいプロジェクトも立ち上げられてきました。2018年、アマゾン基金の支援で開始した「持続可能でレジリエントなタパジヨス（アマゾンの支流の一つ）」は、アマパ州の隣のパラ州において、地元組織の強化を通じた持続可能な林業と非木材林産物生産を推進する取り組みです。同じくパラ州において、民間企業からの支援により、森林再生のための種子供給のネットワークを作り、15ヘクタールの森林再生を行うプロジェクトも開始しました。また、2019年に開始した、州知事気候と森林タスクフォース（GCF-TF）の支援で「気候変動対策のための森林：アマパ州における生態系サービスへの支払い（PES）とREDD+のための州制度」は2020年12月に完了しました。

そして、今年、アマパ基金からアマパ州有林とアマパ州内の「Iratapuru 持続可能な開発のための保護区」地域における活動に9万3千ドルが支援されることになりました。アマパ基金は、アマパ州の保護区と先住民族の土地の統合的管理を支援することを目的に2016年にCIとCIのグローバル・コンサベーション基金が立ち上げた基金です。アマパ基金は300万ドルの規模があり、今後毎年新たなプロジェクトを支援していく予定です。

CIは、アマゾン地域の持続的な発展のため、パートナーと連携した取り組みを継続しています。今回のお便りでは、2020年7月から2021年6月までに主に地元政府により実施された活動内容をお届けします。

組織の強化

COVID-19の感染拡大により、活動は制限を受けました。国の保護区は2020年3月から2021年7月の期間閉鎖され、区域内の全ての活動が停止されました。2021年の上期には、コミュニティは徐々に活動を再開しています。

コミュニティによるビジネスには地元組織が欠かせません。アマパのプロジェクトにおいて重要な役割を果たしている地元組織は、ボンソセソ協会と森の種子協会です。

ボンソセソ協会は、アマゾン基金とブラジル銀行財団の資金支援により、エコフォルテというプログラムを通じて組織力強化と非木材林産物の管理に取り組んでいます。

前回報告期間に設立された森の種子協会は、サプライチェーンの強化のため、アマゾン地域で活動する2つのNGOのIepe（先住民族訓練調査研究所）及びマミラウア持続可能な開発

研究所との新たなパートナーシップを開始しました。2021 年後半にこの 2 つの機関の支援により、バイオ化粧品とコミュニティによるツーリズムに取り組む予定です。

また、森の種子協会がポルトグランデ市の保健当局と調整し、COVID-19 のワクチンをコミュニティメンバーが接種できることになりました。9 月に 2 回目接種を完了する予定です。これは、空気をはぐくむ森プロジェクトを通じて組織が強化されてきたことがもたらした成果です。

非木材林産物の管理

非木材林産物の管理の活動は 2021 年後半に徐々に再開し、2022 年に本格的に再開することを想定しています。2021 年 9 月、コミュニティーリーダー 2 人がパラ州で実施されるバイオ化粧品に関するトレーニングに参加する予定です。

2021 年後半には、製品の品質の向上、衛生に関する認証、設備の整備、マーケティング、社会的企業、ビジネス管理等に取り組む予定です。先述の通り、ボンスセソ協会はエコフォルテプログラム、森の種子協会は Iepe と マミラウア持続可能な開発研究所の支援を受けていますが、それに加えてアマパ基金も狙っています。

コミュニティによるエコツーリズム

エコツーリズムには外部からのツーリストの来訪が必要なため、コミュニティの健康と安全のため、現在活動は中止しています。活動再開は、COVID-19 の感染が下火になり、コントロールされた状態になっていると期待される 2022 年前半を予想しています。

マミラウア持続可能な開発研究所とチコメンデス生物多様性研究所 (ICMBio) がエコツーリズムの活動を支援する予定です。

林業 (木材生産)

アマパ州政府の組織変更の影響による混乱により、まだこの活動は再開できていません。アマパ国有林の林業の強化のため、ICMBio がドイツ復興金融公庫 (KfW) の森林管理プロジェクトからの資金獲得を試みています。林業の管理はアマパ州の森林管理において重要な課題であり、アマパ基金も活用していく予定です。

※文章の無断転用はご遠慮ください。